

<JAC のアワードをいただいて>

AOI Pro. 中村拓人

○JAC AWARD の受賞年度

2016年にプロダクションマネージャー・オブ・ザ・イヤーを受賞させていただきました。当時、26歳で4年目での受賞は最年少記録だったと記憶してるのですが、何事も記録を作らせていただくことは良いことだと改めて実感しました。個人的にも何かの記録をつくるということが初めてでしたので、今でも言い続けてますしプロフィールにも記載しています。本当に素晴らしい経験をさせていただきました。

○応募の動機

CM制作の中で一番稼働が多いのに、板挟みで、地位も低いプロダクションマネージャーを少しでも良い仕事に見えたり、後輩たちが憧れるような仕事にするためにはどうしたらいいのかを考えていて、そんな時に会社から推薦があり、「これだ!」と思って応募したと記憶しています。また、当時は4年目で三太郎の年間シリーズを一人で回してたこともあり、精神的にも余裕がなくこの仕事を続けるべきなのかを悩んでいる時期で、何かにすがりたい思いで応募させていただきました。

○JAC AWARD を受賞して

最高の賞をいただいた瞬間は「喜び」よりも、「安心」がまさっていたことを強く覚えています。PMという仕事は中々目に見えた評価をされることも少ないし、光が当たることも中々ないので自分がやってきたことが正しかったと証明されたようでとても安心しました。その後、三太郎チームに報告したりと、周りのスタッフが喜んでくれた時に嬉しさがこみ上げてきました。この賞をいただけたからこそ、今の自分があるし、辞めずに続けられてPにもなれたと思っています。この経験は後輩たちに伝えていきたいと日々強く思っています。

○後輩達につたえたいこと

忙しい中、エントリー作業やPR動画など大変な作業もありますが、是非挑戦してみたいです。とれるものはとったほうがいいし、とって初めて見える景色もあります。僕はこの賞に救われたし、今の活力にもなってます。PMが主役になる業界を目指して一緒に頑張っていけると嬉しいです。